

第1回くるめ環境表彰
環境行動賞 受賞者一覧

(個人・団体順、50音順、敬称略)

分野	受賞者名	具体的な活動内容
環境美化	河津 次男	資源ごみは持ち帰り、洗って資源ごみの収集日に出している 粗大ごみは、環衛連と連携して回収
	小森野小学校 父親の会	1回あたり親子約70人で地域のごみ拾いを実施
	久留米市立城南中学校 ボランティア部	学校敷地内及び学校前の通りの落ち葉掃除
	道守くるめネットワーク	明治通り、BS通りの除草ボランティア
ごみ減量・リサイクル	久留米市立篠山小学校	毎週水曜日に全校に放送で呼びかける。毎週金曜日の朝や、月1回の委員会活動でアルミ缶をつぶしたり、数のチェックを行ったりしている
地球温暖化対策	株式会社 丸信	消費電力の削減、社有車のハイブリッド化100%計画、再生可能エネルギーへの切り替え、Jクレジットの購入 独自の「CO2ゼロ印刷」マークの普及拡大を通じた環境意識の啓蒙
環境教育・学習	久留米市立北野小学校	環境学習、生ごみリサイクル体験
	社会福祉法人暁心会 三潯保育園	【活動①】年中児の環境教育（環境活動） ・くるめクリーンパートナーとして地域の美化活動（月に1回以上） ・お店屋さんごっこにアップサイクルの視点を取り入れたマルシェの開催（1回） 【活動②】年長時の環境教育（環境活動） ・水をテーマとした環境活動と実践（年6回） 【活動③】活動の情報共有 ・園だよりにて、各家庭に実施した成果などを共有

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】河津 次男

1. 概要

(1) 活動人数

部門	単独	複数で活動している場合の人数
個人	単独	—

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年2月	ほぼ毎日	下弓削川の下弓削地区両岸法面

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会への恩返し
活動の目的	散乱しているごみを回収すると美しくなる
具体的な活動内容	資源ごみは持ち帰り、洗って資源ごみの収集日に出している 粗大ごみは、環衛連と連携して回収

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

汚いままだと投げ込みが多くなるが、完璧にきれいにすると投げ込みにくくなる

(4) アピールしたいポイント

誰かが勇気を出してやらなければ世の中はきれいにならない 社会への恩返しとして取り組んでいる
--

(5) 他団体とのかかわり

くるめクリーンパートナーに登録 (No.756 令和2年3月23日登録)

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】小森野小学校父親の会 （代表者）会長 小島 康弘

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	50人	3～4人

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成28年	年に6回	筑後川河川敷、小森野校区の公園、小学校周辺

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	クリーンパートナー登録者から声をかけてもらった
活動の目的	親子で活動を楽しむ
具体的な活動内容	1回あたり親子約70人で地域のごみ拾いを実施

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

（3）上記の理由

子どもころの体験が記憶に残り、地域の環境に愛着を持つ

（4）アピールしたいポイント

なし

（5）他団体とのかかわり

くるめクリーンパートナーに登録 (No.727 令和元年5月13日登録)

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】久留米市立城南中学校 ボランティア部

1. 概要

(1) 活動人数

部門	学級		学年	活動人数
	年 組	人数		
学校			部活生	54 人

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成 29 年	年に 50 回	学校敷地内及び学校前の通り

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	花火大会後の清掃活動をきっかけに、学校周辺での活動を開始
活動の目的	社会に役立つことを積極的に行う
具体的な活動内容	学校敷地内及び学校前の通りの落ち葉掃除

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

活動を続けていくうちに部活生の声かけから参加希望者が増えたり、徐々に生徒同士で協力して短い時間内で効率的に活動を行ったりできるようになった。
--

(4) アピールしたいポイント

他の部活動と兼任している生徒で朝練が終わった後に活動に参加している生徒がいる。 朝早く登校し、多い時は地面が見えなくなるほどの落ち葉をその日の参加者で手分けして掃除している。
--

(5) 他団体とのかかわり

なし

< 参考画像 >



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境美化

【受賞者名】道守くるめネットワーク

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	1,172人	100～200人

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成28年2月	年に4回	明治通り、BS通り等

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	
活動の目的	多くの人が訪れる久留米市の顔となる道路を美しくする。
具体的な活動内容	明治通り、BS通りの除草ボランティア

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

道守くるめネットワークを発足し、道路の美化活動をすすめるために一緒に活動する団体や企業を積極的に広げながら、活動範囲も明治通りからその他の道路まで広げている。また、他市の団体との交流も行い、活動の活性化に努めている。
--

(4) アピールしたいポイント

発足当初8団体であったが、令和4年4月時点20団体に拡大

(5) 他団体とのかかわり

明治通り等で市が進める花街道サポーター（植栽ボランティア）の活動と連携し、ボランティア以外にも道路管理者である国と協議を行いながら道路環境の向上を図っている。また、ボランティア活動においても市のイベント（水の祭典等）にあわせて活動を行うなど、行政と協力しながら効果的な活動を行っている。

道守くるめネットワーク 参加団体募集



「道」を舞台に、あるいはテーマに様々な活動をおこなっている人々を「道守」とし、その活動を「道守活動」と呼んでいます。
国土交通省の呼びかけにより「道守九州会議」が立ち上げられ、行政まかせではない住民と行政との「協働」の道守活動を推進しています。

道守くるめネットワーク 平成28年2月15日発足

■主な活動

いろいろな団体や行政との意見交換会を行ったり、参加団体のご協力で明治通り除草ボランティアを実施しています。

参加できる時にお気軽にご参加ください。

- ・道守くるめネットワーク意見交換会 年1回
- ・道守ふくおか会議（県南）意見交換会 年1回
- ・みちづくし参加（九州内の都市） 秋開催
- ・明治通り除草ボランティア 年3回程度
- ・BS通り除草ボランティア 年1回程度 など

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、中止又は規模を縮小しておこなわれました。



■参加費 不要（内容によっては、実費が必要な場合があります）

■申込み方法

参加申込書を下記までご提出ください。

■申込み・お問い合わせ先

久留米市 都市建設部 公園緑化推進課
TEL 0942-30-9087 FAX 0942-30-9707
〒830-8520 久留米市城南町15-3
久留米市庁舎11階

■参加団体 市内の企業、ボランティア団体

■活動内容

道守くるめネットワークは、年数回集まり、活動報告や他都市のボランティア団体との交流会に参加し、楽しく意見交換をしています。

ボランティア活動や意見交換会開催時には、随時参加団体へご案内します。意見交換会には、行政（久留米市等）も参加しています。

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】ごみ減量・リサイクル

【受賞者名】久留米市立 篠山小学校 （代表者）檜橋 閲子

1. 概要

（1）活動人数

部門	学級		学年
	年 組	人数	
学校			その他（環境・美化委員会）

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和元年4月	週に1回	久留米市立篠山小学校

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	本校は「久留米市学校版 ISO」に認定され、地球にやさしい学校づくりに取り組んでいる。その中で環境・美化委員会の児童の発案で始めた。
活動の目的	アルミ缶の回収活動を通して、資源の有効活用を図る
具体的な活動内容	毎週水曜日に全校に放送で呼びかける。毎週金曜日の朝や、月1回の委員会活動でアルミ缶をつぶしたり、数のチェックを行ったりしている。

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

（3）上記の理由

アルミ缶の回収数が年々増加しており、家庭の協力を得ている。資源のリサイクルにより、持続可能な社会づくりに繋がると考える。

（4）アピールしたいポイント

学校全体でこの取組みを行うことで、資源を有効活用し、生徒たちが持続可能な社会づくりを学ぶことができている。

（5）他団体とのかかわり

無し

< 参考画像 >



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】地球温暖化対策

【受賞者名】株式会社 丸信 （代表者）代表取締役社長 平木 洋二

1. 概要

(1) 活動人数

部門	構成人数
事業者	450 名

(2) 活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年1月	ほぼ毎日	本社事業所

2. 活動内容

(1) 活動内容等

活動を始めたきっかけ	2020年1月のSDGs宣言をきっかけに環境負荷を提言する資材等の提案を強化してきたが、単なる製品提案に留まらず、顧客が比較的容易に環境PRや環境意識向上ができる仕組みについて模索していた。
活動の目的	製品販売を通じて、顧客の環境意識の向上を図ることで、1人でも多くの人、1社でも多くの企業が環境について真剣に取り組むきっかけとなることが目的
具体的な活動内容	消費電力の削減、社有車のハイブリッド化100%計画、再生可能エネルギーへの切り替え、Jクレジットの購入。 独自の「CO2ゼロ印刷」マークの普及拡大を通じた環境意識の啓蒙。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

本社事業所でのカーボンゼロ達成は自社の取り組みだけにとどまらず、達成の成果を独自ロゴマークの付与という形で顧客とシェアすることで広く企業の環境意識の向上に寄与するものと考えている。

(4) アピールしたいポイント

本社事業所におけるカーボンゼロの取り組みのインパクトは、世界規模の脱炭素のスケールからすれば微々たるものだが、カーボンゼロ達成に伴う独自の環境マークを運用することで、脱炭素や環境配慮の活動を普及拡大させる可能性があると考えている。また、継続的な「かっぱの森 J-クレジット」の購入で、地元久留米市の森林保全に貢献するとともに、弊社の取り組み、久留米市の取り組みを広くPRしていく。こうした活動を通じて、1社でも多くの企業とともに地球温暖化対策に寄与できる取り組みを増やし、環境負荷の低減を図っていくことで、より住みやすいまちづくりにも貢献できるものと考えている。

(5) 他団体とのかかわり

- ・「かっぱの森 J-クレジット」の購入→久留米市田主丸財産区、大久保勉前久留米市長
- ・再生可能エネルギーへの切り替え→九州電力
- ・「CO₂ゼロ印刷」マークの普及拡大→取引企業（顧客）

<参考画像>

株式会社 丸信

<環境マーク表示のご案内>

「CO₂ゼロ印刷」を 表示しませんか?

貴社商品で**脱炭素化**
がアピールできます。

世界共通の目標として各国で進められているカーボンゼロ（脱炭素化）は、企業が単独で取り組むには、設備投資や再生エネルギーの電力契約が必要であったり、事業運営体制の見直しを余儀なくされるなど負担が高いのが現状です。そこで、実質CO₂排出量ゼロの印刷工場を運用している当社は、独自の「CO₂ゼロ印刷」マーク製品を策定し、お客様がパッケージやシール等を通じて環境への取り組みをアピールできる仕組みを作りました。

表示できる3つの項目

- 1 マークの表示**
丸信独自のCO₂ゼロ印刷マークを策定しました。マークは顧客から選べます。
※マークの掲載は別添資料
- 2 文章の表示**
（環境配慮の文章例）
このパッケージは、二酸化炭素の排出量が実質ゼロの、環境に優しい印刷工場で製造されています。
（パッケージ(PACKAGE)・紙にも製品タイプに合わせて「ラベル(LABEL)」紙(PAPER)等が表示できます。
- 3 エビデンスの提供**
CO₂ゼロ印刷の標章を示した当社専用ページの詳しい内容やリンク先をご活用できます。
<https://www.maru-sin.co.jp/sdgs/carbonzero/>

※表示する項目はお客様のご要望に応じて①②③のいずれの組み合わせも可能です。

**表示する
メリット**

- ・商品購入者に環境に配慮した企業であることをPRできます。
- ・従業員や取引先に対する環境意識の向上にお役立ていただけます。
- ・地球温暖化防止、温室効果ガス排出削減、SDGs達成に貢献できます。

CO₂ゼロが表示できる理由はウラへ▶

CO₂ゼロが表示できる理由、それは...

再エネ活用・ハイブリッド化・CO₂排出権等で

実質CO₂排出ゼロの 印刷工場を実現。

《丸信の主なCO₂ゼロ施策》

- ・再生可能エネルギーの活用
- ・社有車のハイブリッド化
- ・一般ゴミのRPF（固形燃料）化
- ・印刷UVランプのLED化
- ・兼用木型の有効活用
- ・低環境負荷トレーの推奨
- ・かっぱの森J-クレジットの購入
- ・RE Action宣言への参加 etc.

【本事業場におけるCO ₂ 排出量】 (2020/1~12)		CO ₂ 削減
電力消費量	3,169,597 kWh	→ 0 t
ガソリン使用量	33,768 l	→ 79 t
重油使用量	19,906 l	→ 54 t
CO ₂ 排出量計		133 t
J-クレジット購入		135 t
CO ₂ 排出量(実質)		0 t

※実質ゼロとなるのはサプライチェーン排出量のうちスコープ1およびスコープ2が対象。詳しくはこちらのページでもご覧いただけます。
URL: <https://www.maru-sin.co.jp/sdgs/carbonzero/>

《脱炭素化について》

「脱炭素化」とは、地球温暖化の大きな要因となっている二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスの排出を抑える活動です。190以上の国と地域が参加して2015年に採択された「パリ協定」では明確な温暖化対策の目標が定められ、実質、世界共通の目標として各国で取り組まれています。日本は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」をして、2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにするという目標を掲げています。貴社も丸信とともに、環境に優しい地球環境の実現に向けて一総に取り組ましましょう。

お問い合わせ先 株式会社 丸信
福岡県久留米市田主丸/上町7-30
TEL.0942-45-2766

第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】久留米市立 北野小学校 （代表者）井手 義隆

1. 概要

（1）活動人数

部門	学年
学校	5年生

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成19年5月	年に1回	北野小学校(多目的ホール・すくすくエコハウス)

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	平成19年3月北野小学校グラウンド東側に、北野小学校PTAが環境教育を目的に生ごみをリサイクルするハウス「すくすくエコハウス」を設置し、久留米東商工会女性部の協力により装置も貸与され、これを機に北野町生ごみリサイクル会と共に毎年環境教育に取り組むことになった。 (コロナ期間中は、休止)
活動の目的	生ごみのリサイクルを通して、地球環境の保全地球温暖化の現状と対策や、土づくりを基とした健全な食づくりについて学び、将来の健全な青少年の育成に繋げたい。
具体的な活動内容	② 環境学習 1日 ②生ごみリサイクル体験 3週間(処理1日・管理3週間)

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

（3）上記の理由

この学習を通じて①CO2の発生抑制や効果的な土づくりを学び、環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげる。②生ごみリサイクル会やまちづくり振興会の人々との関わりを通じ、多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。③④現在多くの生ごみが焼却処理される中、この取り組みを学び将来の地域に広めていくことで、地域の持続的な発展に向けて工夫や独創性を考えることで、子どもたちや地域への波及効果や啓発・教育の効果がある。

（４）アピールしたいポイント

北野小学校 PTA の子供たちの環境教育に際し、グラウンドに生ごみを堆肥にしていく施設として「すくすくエコハウス」を設置し、久留米東商工会女性部の協力により装置も貸与され、地域の北野町なまごみリサイクル会と共に毎年環境教育に取り組みは、全国的に見ても数少ない取り組みであることは特筆すべきである。また、子どもたちもこの取り組みを通じて、地球環境・温暖化の現状やそれに対する取り組みを学び、実際に環境を守る活動を体験することで、将来の健全な環境と食を守る人材の育成に繋がっていることを信じている。

（５）他団体とのかかわり

・久留米市環境部・生ごみリサイクル会・北野町まちづくり協議会・中村生産組合

<参考画像>



第1回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】社会福祉法人暁心会 三潞保育園 （代表者）理事長 國友恵海

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	60	30

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
令和2年4月	月に1回	主に三潞町（企画によって、他校区や福岡市の海岸など）

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	令和2年度のこどもエコスタート実施。
活動の目的	シンク in グローバル、アクト in ローカルの理念のもと、身近なエリアの環境に対してアクションを行い続けることで、子どもたちの意識や行動変容を生み、家庭を通じて社会に伝播していくことを目的としている
具体的な活動内容	【活動①】年中児の環境教育（環境活動） ・くるめクリーンパートナーとして地域の美化活動（月に1回以上） ・お店屋さんごっこにアップサイクルの視点を取り入れたマルシェの開催（1回） 【活動②】年兆時の環境教育（環境活動） ・水をテーマとした環境活動と実践（年6回） 【活動③】活動の情報共有 ・園だよりにて、各家庭に実施した成果などを共有

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

（3）上記の理由

【活動①】月に一度の清掃活動を実施。回を重ねるにつれ意識が高くなり、清掃活動以外で、散歩などに出かけた際にごみを拾う等意識が向くようになった。また、ごみの分別についても高い意識が身についた。
【活動②】水の循環について学ぶ中で、身近な水路・筑後川・海の繋がりを理解でき、地域のごみが海のマイクロプラスチックごみになることを理解した。また、解決するためには一人ひとりの行動が大切であることも理解することができ、各家庭においてもそのような話をする事で、大人への影響も生まれた。
【活動③】園児たちの学びや行動の変化を保育者の視点から紹介することで、各家庭への伝播の手助けとなった。

(4) アピールしたいポイント

- ・未就学児を対象とした環境教育である点
- ・大人が教えるのではなく、実践を通じた気づきの中から学習効果を生む活動である点
- ・散歩先や園庭での遊びの中で、小さなごみやポイ捨てごみに気づいたり、水が命を育んでいることを意識した行動を取ることができるようになるなど、着実に行動変容が現れている点
- ・効果が園児だけではなく、各家庭に伝播し始めている点
- ・多様な主体との協働により学習を推進している点

(5) 他団体とのかかわり

行政：市環境政策課

企業：(独) 水資源機構（筑後川大堰管理事務所）

公益活動団体：NPO 法人筑後川流域連携倶楽部（くるめウス事業部）、パルキッズくるめ、
筑後を守るドローン隊、(一社) ふくおか FUN

第2回くるめ環境表彰
環境行動賞 受賞者一覧

(個人・団体順、50音順、敬称略)

分野	受賞者名	具体的な活動内容
ごみ減量・リサイクル	ダイハツ九州株式会社久留米工場	複合廃プラスチックのカテゴリーの基準を決めて、鉄・アルミの複合割合多い物を有価物カテゴリーに業者と交渉して取り込み。また従業員に周知するため、教育を実施
地球温暖化対策	叡醑酒造株式会社	2棟ある工場建屋の南側の屋根にソーラーパネルを設置し、北側の屋根に遮熱塗料を配布。 太陽光発電により年間使用電力の約1/3を節約、約67.3トンCO2削減を計画。遮熱塗料ミラクールは太陽光を約90%反射するため、建物が受ける熱の影響を軽減させる効果を発揮。これにより工場内の環境を改善し、夏の冷暖費を約41.6%ダウンすることが可能となった
自然環境保護・生物多様性	高良山竹林環境研究所	高良山の荒れた竹林を整備することにより土砂災害を未然に防ぎ、「硬くて食べられない」と不要とされていた伸びた竹の子を採取することで竹の乱立を防ぐと共に、美味しく食べられる純国産メンマを作る。また、竹林整備やメンマづくりを地域の方々や子供たちと行うことにより地域連携を図る
自然環境保護・生物多様性	鷹正宗株式会社	主力商品である「めっちゃうま麦25度 2Lパック」のご購入1本あたり2円を森林保全活動を行う組織「九州沖縄グリーンプロジェクト」に寄付している
環境教育・学習	松本 幸博	宮ノ陣クリーンセンターの工場見学の案内においてごみ処理方法や設備について説明。 夏休みに小学生を対象とした環境に関する自由研究講座の開催。 宮ノ陣クリーンセンターが主催するイベントのサポート
環境教育・学習	久留米工業大学 学生団体 Picture	筑後川防災施設くるめウスで子ども達へゲームを用いた環境教育を行っている。 ・筑後川弾幕の夜明け 本作は筑後川に生息する魚が登場するシューティングゲームとなっており、小さい子供から大人まで楽しみながら遊ぶことができるゲームとなっている。また、登場した魚の詳細を知る機能が実装されている。 ・筑後川おさんぽAR 本作は専用のマーカーに携帯端末をかざすことで筑後川に生息する魚が飛び出してくるAR作品となっている。最も大きな特徴としてどこからでも筑後川に生息する魚を見ることができることが挙げられる。 作品紹介動画： https://www.youtube.com/watch?v=loHvGN18Zhc

第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】ごみ減量・リサイクル

【受賞者名】ダイハツ九州㈱久留米工場 （代表者）取締役工場長 榎 義人

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	500	

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成 28 年 (2016 年)	ほぼ毎日	工場、敷地内、廃棄物置場

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	産業廃棄物の低減。
活動の目的	廃棄物を有価物に取り込み、クリーン化のため。
具体的な活動内容	複合廃プラスチックのカテゴリーの基準を決めて、鉄・アルミの複合割合多い物を有価物カテゴリーに業者と交渉して取り込み。また従業員に周知するため、教育を実施。

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

（3）上記の理由

廃棄物が低減することで、カーボンニュートラルにもつながる。

（4）アピールしたいポイント

産業廃棄物を有価物へ取り組み試行。

（5）他団体とのかかわり

--

第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】地球温暖化対策

【受賞者名】叡酩酒造株式会社 （代表者）濱崎 公孝

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
事業者	11	—

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2021 年 12 月 (令和 2 年)	—	叡酩酒造

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会の一員として鷹正宗がカーボンニュートラル及び SDGs への取組み進めると決めた事から
活動の目的	太陽光発電（ソーラーパネル）の設置・屋根の遮熱塗料を採用し、CO2 排出量が“実質的に”ゼロとなる工場「CO2 ゼロ工場」を目指しています。
具体的な活動内容	2021 年 6 月に設置の計画を策定し、2022 年 12 月に工事が完了しました。2 棟ある工場建屋の南側の屋根にソーラーパネルを設置し、北側の屋根に遮熱塗料を配布しました。 太陽光発電により年間使用電力の約 1/3 を節約、約 67.3 トン-CO2 を削減を計画しています。遮熱塗料ミラクールは太陽光を約 90%反射するため、建物が受ける熱の影響を軽減させる効果があります。これにより工場内の環境を改善し、夏の冷暖費を約 41.6%ダウンすることができます。

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がり在今后期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

（3）上記の理由

ソーラーパネルにより年間使用電力の 1/3 の節約を約 20 年間続けます。また遮熱塗料により約 10 年間冷暖費の節約につながります。

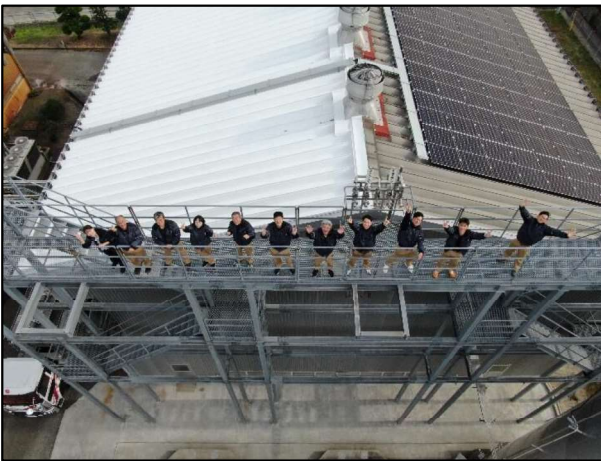
（４）アピールしたいポイント

年間約 67.3 トン-CO₂ の排出量の削減につながります。

また、ボイラーで作った熱湯を通す配管に断熱材を巻くことで熱湯の放熱と室内の温暖化を防ぎ空調にかかる電力を減らすなど、今後も省エネに向けた活動を行っています。表彰に該当する

（５）他団体とのかかわり

＜参考画像＞



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】自然環境保護・生物多様性

【受賞者名】高良山竹林環境研究所 （代表者）渡辺 琢磨・本多 修三

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数（1回あたり）
団体	2	

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2022 年 4 月 (R5 年)	月に数回	高良山周辺

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	高良山にある渡辺の実家周辺の竹林。放っておくと荒れる一方で土砂災害を引き起こす為管理をどうしようか頭を悩ませていた。数年前から周りに相談していたところ、2022 年 4 月知人より「糸島で竹林問題に取り組みメンマづくりをされている方がいる」と声をかけられ糸島へ。考え方に共感し久留米でもやれるか、とにかく活動を開始した。
活動の目的	高良山の竹林整備による災害防止と美竹林化や不要とされていた伸びた竹の子の活用 地域の方々との連携
具体的な活動内容	・2022 年 4 月糸島でメンマづくりを学び、高良山の伸びた竹の子で純国産メンマづくりを開始。 7 月より商品化に向けネーミング、味付けやパッケージ方法、衛生管理など相談を繰り返し、 11 月よりテスト販売開始。市内のイベントにて出店(10/23：耳納でフェス@緑化センター 12/4：くるめソーシャルグッド@久留米大学 12/7：フラムフェス@農と音 2 号館) ・10 月、長年高良山の環境整備に注力されていた地域の市議の方の声掛けで高良山に関わる地元のボランティア団体の方々や市役所の方々へ私たちの活動内容を御井校区コミセンにて説明会開催。 11 月、12 月に賛同頂いたみなさまと高良山の竹林整備を行った。まずは大量に倒れている枯れた竹を集めるところから開始した。

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

(3) 上記の理由

これまで、関わる人が限られていた放置竹林の整備に新たな関わり方の間口を創出してくれました。このような仕組みがもっと他の環境保全にも浸透していく事ができれば、持続可能な環境が築かれると感じています。

(4) アピールしたいポイント

高良山の荒れた竹林を整備することにより土砂災害を未然に防ぎ、「硬くて食べられない」と不要とされていた伸びた竹の子を採取することで竹の乱立を防ぐと共に、美味しく食べられる純国産メンマを作る。また、竹林整備やメンマづくりを地域の方々や子供たちと行うことにより地域連携を図る。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

高良山ボランティアガイドの会・高良山の森と環境を守る会・高良山奉賛壮年会
御井校区まちづくり振興会

<参考画像>



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】自然環境保護・生物多様性

【受賞者名】鷹正宗株式会社 （代表者）濱崎 公孝

1. 概要

（1）活動人数

部門	構成人数	活動参加者数 (1回あたり)
事業者	54	－

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2022年9月	ほぼ毎日	六ツ門本社、大善寺蔵

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	社会の一員として鷹正宗がカーボンニュートラル及び SDGs への取り組み進めると決めた事から。
活動の目的	対象商品のご購入により1本あたり2円を森林の保全活動に寄付をします。 対象商品を年間約100万本販売している「めっちゃうま麦 25度 2Lパック」とすることで、多くのお客様に森林保全活動の一役を担っていると感じてもらいます。
具体的な活動内容	森林保全活動を行う組織「九州沖縄グリーンプロジェクト」は八女市の西田造林様を中心に設立しました。 弊社はこの活動に賛同し、主力商品である「めっちゃうま麦 25度 2Lパック」のご購入1本あたり2円の寄付を行っています。

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	

（3）上記の理由

弊社の主力製品である「めっちゃうま麦 25度 2Lパック」は継続的に全国へ販売しており、今後も拡売を計画し年間200万本を目指しています。
「めっちゃうま麦 25度 2Lパック」ご購入いただく多くのお客様に森林保全を認識していただきます。

(4) アピールしたいポイント

(5) 他団体とのかかわり

九州沖縄グリーンプロジェクト

<参考画像>



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】（代表者）松本 幸博

1. 概要

（1）活動人数

部門	単独	複数で活動している場合の人数
個人	単独	—

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
平成 28 年 (2016 年)	月に 4 回	宮ノ陣クリーンセンター

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	1999 年に大牟田市から転入して、久留米市の事をもっと知りたいと思っていました。 2015 年 12 月に 64 歳で退職しましたが、タイミング良く宮ノ陣クリーンセンターの「環境交流プラザサポーター」募集があり、公共のごみ処理設備について興味がありましたので応募させて頂きました。
活動の目的	化学会社でのごみ焼却炉や排水処理設備を含めたプラントの設計・建設の経験を活かして、ごみや資源物の処理方法、設備の内容について分かりやすく見学者に説明する中で、ごみの分別やなるべくごみを出さないことの大切さに気付いて頂きたい。
具体的な活動内容	- 工場見学の案内においてごみ処理方法や設備について説明。 - 夏休みに小学生を対象とした環境に関する自由研究講座の開催。 テーマ例は【生ごみの水を減らそう、汚れた水をきれいにしよう、雨が降る仕組みを実験してみよう】などです。 - 宮ノ陣クリーンセンターが主催するイベントのサポート。

（2）目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

- ・ごみの減量などの環境問題への気づきや行動の変化の促進。
- ・焼却設備の環境対策等を知って頂くことで、クリーンセンターのイメージアップと漠然とした不安感の解消。
- ・自由研究の講座を通じて、子どもたちの ” エコに関する科学 ” への興味・関心の向上。
- ・併せて、私自身のスキルアップにもなりました。

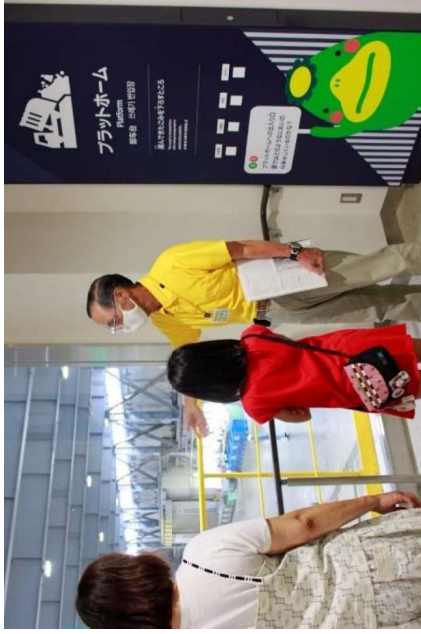
(4) アピールしたいポイント

- ・ごみ焼却設備の設計・建設を通して得た知識・経験を生かした分かりやすい説明で、来館者にクリーンセンターを身近に感じて頂き、ごみの減量などを意識してもらえればと考えています。
- ・サポーターとしての活動を通じて色々な体験ができ、自己のスキルアップにもなって積極的に取り組むことができています。
- ・サポーターを長く続けることができているのは、他のサポーターの方々や職員の皆さんと楽しく活動できたおかげだと思っています。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

環境交流プラザサポーター

＜参考画像＞



第2回くるめ環境表彰 環境行動賞 受賞者の取組み

【分野】環境教育・学習

【受賞者名】久留米工業大学 学生団体 Picture （代表者）池田 雄一郎

1. 概要

（1）活動人数

部門	学級		学年	全校
	年 組	人数		() 人中 () 人活動
学校	—	24	—	24 人中 15 人活動

（2）活動時期・頻度

活動開始年月	活動頻度	主な活動場所
2021 年 4 月 (R4 年)	週に数回	久留米工業大学、筑後川防災施設くるめウス

2. 活動内容

（1）活動内容等

活動を始めたきっかけ	くるめウスでは、2020 年からの新型コロナウイルス感染拡大により、筑後川防災施設くるめウスで開催されていた、子供達の野外での観察会や、施設内での対面環境教育の実施が困難になっていたという課題があった。くるめウスの他の活動に参加していた久留米工大の教員（推薦者）が Picture と繋ぐ形で、非対面でも環境教育が行えるデジタルコンテンツの制作が始まったのがきっかけ。
活動の目的	近年教育現場におけるゲーミフィケーションの考え方が重要視されている。そこで、環境教育においてもゲームを用いた方法をとることで新型コロナウイルス感染を考慮した学習機会を用意することが可能であると考えている。また、フィールドワークと比較した場合に危険性がないことから監督者なしでも子供が体験することができるため、時と場所を選ばない点も大きな要素である。
具体的な活動内容	・筑後川弾幕の夜明け 本作は筑後川に生息する魚が登場するシューティングゲームとなっており、小さい子供から大人まで楽しみながら遊ぶことができるゲームとなっている。また、登場した魚の詳細を知る機能が実装されている。 ・筑後川おさんぽ AR 本作は専用のマーカに携帯端末をかざすことで筑後川に生息する魚が飛び出してくる AR 作品となっている。 本作の最も大きな特徴としてどこからでも筑後川に生息する魚

	を見ることができることが挙げられる。 現在はまだ計画段階ではあるが、マーカを筑後川流域にある名所などに設置することで、魚を集めながら筑後川の名所を回ってもらえるような遊び方をしてもらえるよう考えている。 作品紹介動画：https://www.youtube.com/watch?v=IoHvGN18ZHc また、本作品群は2021年12月に佐賀県神崎市で実施された筑後川フェスティバル in 神崎をはじめとする、複数の展示および発表を行っている。
--	---

(2) 目的に対する成果

成果	
①環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる。	○
②多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる。	○
③持続的な発展に向けた工夫や独創性がある。	○
④波及効果や啓発・教育の効果がある。	○

(3) 上記の理由

1. 環境保全に資する持続可能な社会づくりにつなげることができる生物多様性の保全は、地域にどのような生物がいるのか、知ることから始まります。30万都市久留米の湿地（含河川）には、驚くほど多様な生物多様性があります。近くの川や湿地にどのような生き物がいるのか、子供等に知ってもらうことは持続的な社会をつくることの第一歩だと考えます。 2. 多くの人と一定の面的広がりを今後期待できる 本取り組みは、大学—学生—公共施設が一緒になって作り上げたものです。またくるめウス利用者のフィードバックから、現在も改善を重ねています。生き物好きの子供たちをはじめ、アプリ制作やプログラミングに興味のある子供たちからの反応もあり、今後の活動の広がりが期待されます。 3. 持続的な発展に向けた工夫や独創性がある環境教育とデジタルコンテンツとの融合の試みは大規模な施設以外ではなかなか見られず、新規性があります。また地域に特化した生き物を扱っている点で、久留米独自のコンテンツになっていると思われます。 4. 波及効果や啓発・教育の効果がある ゆめタウン横にあり、多くの来館者があるくるめウスに設置されていることで、高い波及効果や啓発・教育効果が期待されます。
--

(4) アピールしたいポイント

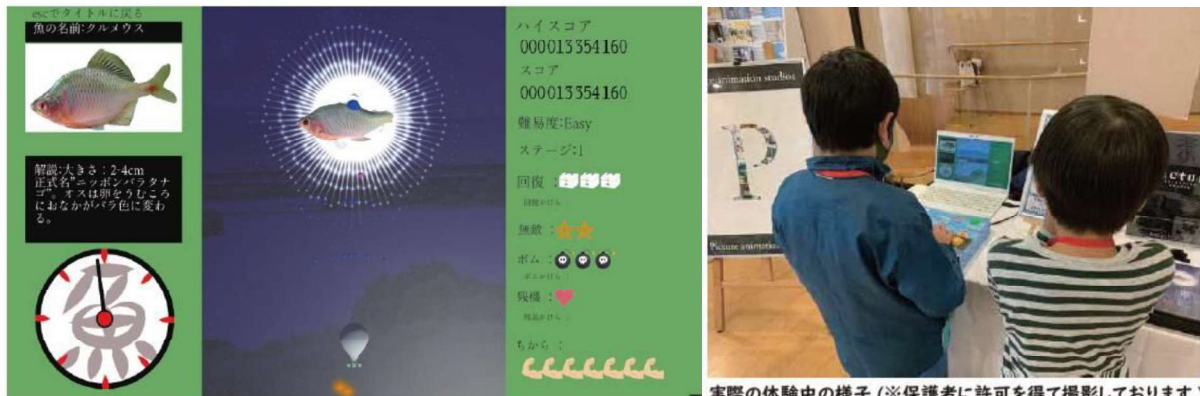
近年教育現場におけるゲーミフィケーションの考え方が重要視されているほか、子供のゲーム年齢が近年低下していることもあり、ゲームを用いた環境教育は今後有効な手法になると考えられる。本活動をきっかけに、環境保護だけでなく、久留米におけるもっとも大きな環境のテーマである防災教育などにおいても活動を継続していけると考えている。表彰に該当する

(5) 他団体とのかかわり

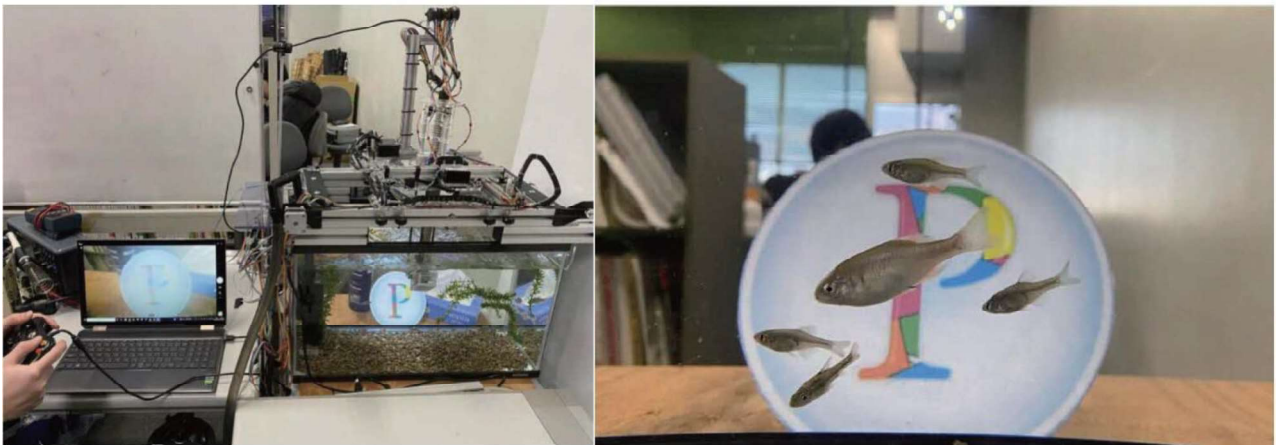
NPO 法人北九州魚部に生物の生態について監修いただいた上で 4 点の筑後川に生息する魚をテーマとしたコンテンツを作成し 2022 年 5 月より完成したコンテンツを筑後川防災施設くるめウスにて展示を開始し多くの来場者に体験いただいている。また、2022 年 12

<参考画像>

筑後川弾幕の夜明け



お魚に変身



第3回くろめ環境表彰 受賞者一覧

(個人・団体順、50音順、敬称略)

環境行動賞

分野	受賞者名		具体的な活動内容
環境美化	1	中村 昌明	歩きながら地域でゴミを拾い活動を行っている 1日でボランティアゴミ袋が3袋になるなど、コミュニティセンターから配られたゴミ袋が足りなくなることある
	2	久留米市立南筑高等学校	・「久留米ほとめき通り商店街」周辺の清掃活動 ・「ばってん少女隊」と宗像の海岸で清掃活動 ・「宗像フェス」でのペットボトルキャップアート ・池町川の河川内の清掃活動
ごみ減量・リサイクル	3	JAくろめ女性部朝市加工の会 「上津の里朝市」	・乾燥生ごみを堆肥化して土づくりを行い、野菜や果物を生産 ・毎週金曜日にJAくろめ南部支店敷地内対応や毎月第3日曜日に宮ノ陣クリーンセンターで朝市を開催し、乾燥生ごみの堆肥で作った野菜や果物を販売 ・くろめフォーラムやふるさとくろめ農業まつり等のイベントで、野菜や果物の販売を行うとともに、取り組み紹介を行う
	4	ダイハツ九州株式会社 久留米工場	今まで、機密情報が記載され用紙を都度シュレッダー処理をし、産業廃棄物として処理をしていたが、機密用紙を資源としてリサイクル業者（溶解証明書有）を調査し、社内では機密用紙を保管する場所や回収ルールなどを取り決めて、従業員に周知して、久留米工場全体で産業廃棄物の低減活動に取り組み、リサイクル化を実施した
自然環境・生物多様性の保全	5	ダイハツ工業株式会社九州開発センター	敷地内の生物調査や生態系の維持、回復を行うとともに、地域住民との交流や外来種の駆除や希少種保全を行っている
環境教育・学習	6	久留米市立南筑高等学校	・久留米市環境部とコラボして「久留米市WEB環境フェア」の活動の一環として、環境啓発動画作成 ・久留米市環境部とコラボして「WEB環境フェア」の活動の一環として、ドリームスエフエム出演 ・久留米市環境部の職員を講師に招いて環境学習会の実施
	7	ゆめタウン久留米	・プラスチック包装資材削減に向けた、マイバッグ・マイかごの推進を行い、レジ袋の使用枚数削減を啓発 店頭に資源回収ボックスを設置し、リサイクルを推進する ・毎月第2土曜に、Good Newsの活動に参加し、くろめウスを拠点として筑後川沿いの清掃活動を行っている ・店舗の空きスペースを無料で提供し、啓発のワークショップ等を実施している（R5年度に、環境政策課でイベントを実施） ・小学生などの企業訪問がある際には、自社の取り組みSDGsを紹介し、将来を担う子どもに教育の機会を提供している ・小型家電回収BOXを設置し、市の施策に寄与している。（包括連携協定に基づく資源からの依頼によるもの）